

「初夏の森散歩&地引網体験」

- 1 日 時：令和元年5月26日（日）
8：30～12：00
- 2 場 所：あわら市波松（波松の民有林）
- 3 参加者：40人（大人21人、子ども19人）
- 4 指導者：河田勝治氏（あわらの自然を愛する会）
- 5 主 催：福井県里山里海湖研究所
共 催：あわらの自然を愛する会

【イベントの様子】

イベントの数日前に、網を入れる海底に岩が露出していることが判明し、地引網ができなくなりましたが、40名の参加者が集まりイベントを開催しました。

気温が30度を超える真夏日となりましたが、波松の民有林の散策や海岸での磯遊び、浜辺での昼食を満喫していただくことができました。

民有林の散策では、木陰の涼しさを感じながら、河田氏から里山や竹、山野草に関するお話をお聞きしました。民有林から戻った後は、波松海岸に移動し、波打ち際で、膝まで海水につかりながら、波と戯れたり、海藻を取ったりして楽しんでいました。海岸では、まめひょこ（スナホリガニ）つかみも行い、地元の方に探し方を教わりながら、熱心にまめひょこを探して捕まえていました。海岸を楽しんだ後は、浜辺のテントの中で、子どもたちが「ビーチクラフト」を行い、木の板にボンドで貝殻や石、ガラスなど貼り付け、マジックで着色し、思い思いの作品を作っていました。最後に、かまどで炊いたごはんや魚のみそ汁、その場で焼いたイカ焼きで昼食をとっていただき、イベントは終了しました。

残念ながら地引網はできませんでしたが、あわらの森や浜辺での体験を通して、それぞれの参加者が、自然のすばらしさや大切さについて、あらためて感じていただけたのではないのでしょうか。



